

## 三宅島の現状（その34）

平成14年7月10日

現地災害対策本部（三宅島）

### 【気象及び火山活動の状況】 6月26日～7月10日

梅雨前線の影響で6月30日までは雨の降る日が続き、29日には神着で1日の合計雨量62ミリを観測しました。7月1日～7日までは高気圧におおわれ、概ね晴れの天気となりましたが、8日には南からの暖かく湿った空気の影響で雨となりました。

火山の活動状況は、この期間を通し山頂が雲で覆われていたため噴煙の状況は観測できませんでした。6月29日には震幅のやや大きな火山性微動が観測されましたが、これ以外には火山活動に大きな変化はありませんでした。7月4日には警視庁の協力により火山ガス（SO<sub>2</sub>）の放出量調査を実施し、約3,000トン/日～5,000トン/日を観測しました。島内のガス濃度（SO<sub>2</sub>）は、7月1日 三七山 11.3ppm、2日 とんび沢 17.3ppm、3日 三池 10.7ppmを観測しました（気象庁機動観測）。

また、7月7日に予定されていた火山ガス採取用パイプ敷設作業は、山頂の気象条件の悪化が予想されたため、延期となりました。

### 【日帰り帰宅事業の実績等】

年月日	H14.4.2	H14.4.9	H14.4.16	H14.4.23	H14.5.14	H14.5.21	H14.5.22
場所	坪田地区	三宅地区	阿古地区	坪田地区	三宅地区	阿古地区	坪田地区
人数	179名	194名	190名	189名	168名	178名	289名
年月日	H14.6.25	H14.6.26	H14.7.2	H14.7.9			
場所	三宅地区	阿古地区	坪田地区	三宅地区			
人数	286名	264名	101名	延期			

### 【伊ヶ谷漁港の整備】

避難港として整備中の伊ヶ谷漁港（延長岸壁50M）に、本年度予定のケーソン据付け工事2函のうち1函が、6月25日完了しました。2函（25m×2＝100m）の据付けが完了しますと、「はまゆう丸」クラスの客船の接岸が可能となります。

### 【現地対策本部神津島連絡所の廃止】

神津島連絡所は6月30日廃止し、7月1日から業者委託になりました。

3日には、支庁から福島支庁長、村から平野課長外が神津島村始め関係機関にお礼の訪問を行いました。

### 【三宅地区一時帰宅の延期】

7月8日竹芝発の「かめりあ丸」が台風6号による波・うねりのため欠航となりました。

したがって、9日の三宅地区の一時帰宅も延期になりました。今回は、16日（火）竹芝発、17日（水）帰宅の予定です。

### 【台風6号】

台風6号が10日、三宅島に再接近しました。暴風雨警報が出され、波浪も高い状況でした。翌11日早朝、島内都道周辺及び港湾施設を調査しましたが、特に大きな被害はありませんでした。

### 【就労情報】

村役場では求人情報を下記のホームページに掲載するとともに、住民情報ネットワーク（島民連絡会）42ヶ所の連絡所にも送付しております。仕事を探している方はもよりの連絡所でご覧下さい。また、就職についての相談は三宅村村民課避難対策係（代表03-5321-1111内線45-651）にご連絡ください。

なお、直近の情報はホームページ「三宅島を離れた村民のみなさまへ」をご覧ください。

（アドレス <http://www.miyakemura.com>）

（問い合わせ先）三宅支庁総務課行政係 電話：03-5320-7854

# 寄付金のお知らせ

島内一般分  
(平成13年8月14日以降)

次の方々より、社会福祉のためにとご寄付をいただきました。ご厚志まことにありがとうございます。なお、災害救援・支援関係のご寄付につきましては、別紙に掲載させていただきます。

- 木元 通修様(阿古) 金三万円。亡父金吾様のご香典の一部を。
- 笹本フミ子様(伊ヶ谷) 金五万円。亡夫学様の一週忌法要に際して。
- 杉野 芳夫様(神着) 金五万円。亡妻はる多様のご香典の一部を。
- 佐久間行子様(阿古) 金十万円。亡夫太六様のご香典の一部を。
- 佐久間 哲様(阿古) 金十万円。亡夫繁様のご香典の一部を。
- 沖山 民雄様(阿古) 金十万円。亡妻ウメノ様のご香典の一部を。
- 筑波 義明様(坪田) 金五万円。亡母イネ様のご香典の一部を。
- 早川マズ子様(神着) 金五万円。社会福祉のため
- 以上平成13年度内  
三宅 笑子様(阿古) 金十万円。亡夫宏様のご香典の一部を。
- 山本 純男様(坪田) 金十万円。亡母ナツ様の香典の一部を。
- 大木 雅雄様(葛飾区) 金十万円。亡父三郎様のご香典の一部を。
- 早川 道教様(神着) 金十万円。亡母信江様のご香典の一部を。
- 退職(平成14年3月31日付)  
◎山本倫太郎(事務局主事) 採用(平成14年4月1日付)  
◎桑村 健司(事務局主事) Ⅱボランティア担当  
◎北村 淑子(非常勤ケアマネジャー)

## 情報連絡員

引き続き活動しています。

三宅島社会福祉協議会で、三宅村からの委託事業として平成14年度も引き続き「情報連絡員配置事業」を実施します。昨年度は24名の連絡員が電話や訪問等で延べ一、八二一件の連絡活動を行いました。制度利用上の手続きや、行政からの情報を分かりやすく伝えることなどが主な活動内容ですが、避難生活上の心配ごとや社協を通じて各専



4月の情報交換会を終えて

- 門機関におつなぎしていただきますので、身近な相談役としてお気軽にご活用ください。今年度の連絡員は次の28名です。(順不同)
- 【23区】  
浅沼美佐子 沖山 則子  
佐久間フヂエ 平澤 幸子  
山本喜美代 北川多恵子  
鎌川 文子 五十嵐文子  
飯倉 則子 高田けさよ  
菊地 昭代 福澤ノリ子  
竹本 光江 早川マズ子
- 【多摩地区】  
酒井 謙三 森下久美子  
寺本 昭子 沖山 仙明  
伊藤 智文 山田 利明  
金澤 裕子 川口富貴子  
青山 孝子 栗本 淑子  
高松 洋子 吉澤 真紀  
北川 由紀
- 【島しょ地区】  
石井 藤枝
- ※都外への避難者についても分担して連絡しています。

退職者支援資金の貸付を受け付けています。

生計中心者の失業によって生活の維持が困難となった世帯に対して生活資金をお貸しする「退職者支援資金貸付制度」が3月より始まっています。この資金貸付についてのお問い合わせは事務局(Ⅷ〇三―三二三―五―五七三〇)まで。

### 事務局から

災害発生から丸二年。様々なことを思い出す夏が再びやってきました。6月26日、6月30日、7月8日、7月14日、7月20日、7月24日、7月31日、8月10日、8月18日、8月25日、8月29日、9月1日、9月4日皆さんはどの日が一番思い出深いでしょうか。「三宅島島民の帰島始まる」新聞にこの見出しが載る日を心待ちにしながら。

第 115 号

平成14 (2002) 年 7月15日発行

発行 三宅島社会福祉協議会  
会長 寺本 達  
東京都新宿区神楽河岸1-1  
☎ (03)-3235-5730  
FAX (03)-5229-1651

ホームページ <http://www.miyakejima.com/syakyo/>

# 三宅島 社協だより

## ネットワークを活用した島民支援のために 社会福祉協議会の連携の強化をめざして

平成12年6月の災害発生から二年の歳月が流れました。現地での二カ月間の苦闘の末の9月の全島避難。そして、その後の避難生活と、過ぎ去った日々が遠い昔のようにも感じられる。つい昨日のようにも思われます。その間の島民の皆様のご苦労に対して心よりお見舞い申し上げます。

三宅島社会福祉協議会では災害発生当初より介護を必要とする方への避難対応を中心に活動を展開し、全島避難以後は、社会福祉協議会として持っている機能をフルに使って被災島民に対する救援活動を実施することを平成13年度・14年度の事業計画の重点目標に掲げて、事業実施につとめてまいりました。その間、広報活動が不十分となり皆様にご迷惑をおかけいたしました。

### 高齢者分野

三宅島は高齢化率が三割を超える「超高齢社会」です。社協では、避難した高齢者の介護問題について、村保健福祉課やあじさいの里の在宅介護支援センター、保健所等との連携によって相談に対応してまいりました。平成13年度の社協ケアマネジャーによる訪問調査数は延べ83件を数え、これを含めて延べ百件を超える訪問を行い、避難先の在宅介護支援センターや介護事業所とも連絡を取り合っており、在宅サービスを上手に利用していただくことで、避難生活における家族の介護負担の軽減につとめました。

### 障害者分野

地域デイサービスを利用していただいていた方たちを中心に指導員が避難先での社会参加や就労、介護サービスの利用などについて援助活動を行いました。

### ボランティア活動

「三宅島災害・東京ボランティア支援センター」とともに、ボランティア支援の受け付けや調整を行いました。また、秋川の「三宅島児童生徒支援センター」では、多くのボランティアの協力を得て、



社協ケアマネジャーによる訪問活動

アドバイザリースタッフが帰った後の時間帯も一緒に遊んだり話をしたりできるように体制を確保しました。

社協のネットワークを有効に活用して

正職員5人の小さな三宅島社協ですが、長期化する避難生活に対応するため、平成14年度は全国の市町村に組織されている社協のネットワークを有効に活用しながら、より広くより深く活動を展開してまいります。

# 平成13年度 三宅島社会福祉協議会 事業報告

5月26日に開かれた評議員会で承認された平成13年度の事業について概要を報告いたします。

## 会員・会費

住民の島外避難が続いているため、会員募集・会費の集金は行いませんでした。

## 調査研究

社会福祉法人の新会計基準、精神保健福祉、障害者支援費支給制度、生活福祉資金などの研修・説明会に職員が延べ13回参加。

## 連絡調整

福祉・介護相談への対応や避難住民への支援策について管内関係機関や避難先の社会福祉協議会、ボランティアセンター、行政など

と情報交換および連絡調整をしました(役員が73回の会議等に参加)。

災害関係の研究会や交流イベントへの参加、及び講師派遣は27回。また、島民連絡会会議へは役員が毎回出席しました。

## 広報・宣伝活動

三宅島社協だより一四号を発行し全世帯、管内関係機関、都内区市町村社協及びその他の支援者に郵送。三宅島災害・東京ボランティア支援センター発行のファックス通信「みやけの風」に社協関係情報を掲載。

## 児童福祉

三宅島児童・生徒支援センターに非常勤職員を一名配置し、3月末まで運営。秋川校舎敷地内での児童館的な活動や、招待イベントの調整・紹介を行いました。

支援物品の発送は九回行い、延べ五、五七八名に三五〇万円分のプリペイドカード等を送りました。

福祉活動専門員を都立三宅高校に市民講師として派遣。三年生選択科目「福祉教養」を担当しました。進学する中三生へ塚田・太田奨学金支給を推薦。

## 高齢者福祉

情報連絡員や関係機関からの連絡などにより、電話および訪問にて相談を受け付け、内容に応じて関係機関等へ連絡し対応しました。介護用具の貸出は入浴補助用具など四件でした。

## 介護保険事業

要介護認定訪問調査は延

べ83件。本会へのケアプラン作成依頼者は年度当初14名、年度末17名でした。

## 更生援護

役員三名が、延べ八施設の入居者延べ33名に対して訪問、お見舞いをしました。

## 村からの委託事業

情報連絡員配置事業を三宅村より受託し実施。連絡員24名が高齢者等に対して延べ一一、八二二件の声かけ、連絡活動をしました(電話三、九二四件、訪問二、二四六件、その他五、六五一件)。

## 障害者福祉

災害前の地域デイサービス事業利用者の避難先における生活確立を支援。

6月に「三宅島ウォーク実行委員会」とともに軽井沢旅行を実施。三宅島から障害者・家族ら13名が参加。

11月には「三宅島ウォーク・イン筑波」を行い、三宅島から10名が参加し交流。

## ボランティア活動

三宅島児童・生徒支援センターの活動に対し、あきる野市の地元住民やボランティア団体が多数協力。

三宅島災害・東京ボランティア支援センター事業の「ふれあいコール」には島民ボランティア23名が登録参加。コール数は延べ二、一七七回でした。

4月15日と9月30日に第二回・第三回「三宅島島民ふれあい集会」を三宅島島民連絡会や三宅島災害・東京ボランティア支援センターとともに開催。ボランティア保険の加入料の助成は58件でした。

## その他

歳末たすけあい募金・赤い羽根共同募金は、三宅島社協としては未実施でした。

# 帰島の日まで応援を続けます。

港区社会福祉協議会・港区ボランティアセンター前センター長 森マサ子

2月2日。竹芝桟橋近くのアジュール竹芝で「あしたば広場交流会」が開催され、港区に避難されている島民の皆様や関係者を含めて約一三〇人が集いました。

## 地元の一人のボランティアの方の連絡から

港区社協が三宅島の方と初めてつながったのは、一人のボランティアの方からの電話でした。避難当初は確かな情報も得ることができないなかで、三宅島の方々が入居された住宅にその方が直接出向いて状況を社協に知らせてくださいます。そのおかげで、住宅自治会が説明会を開く際に区職員とともにうかがい、利用できるサービスの説明をさせていただいたのです。

## 物資中心の支援から精神的なサポートへ

避難が長期化するにつれて、港区社協の支援も次第に精神面へ配慮できるよう



2月2日の「あしたば広場交流会」の様子

島の方たちも活動の受け手になるだけではありません。避難された二ヵ月後には、「お世話になったお返しに何かしたい」との声が上がり、草取りボランティアの活動なども行われ、その後も数回にわたって活動が行われまています。個人的に港区民に対するボランティア活動に取り組まれる方も生まれました。

## よりきめ細かな対応をめざして

今後の課題は、縁故避難されている方の対応です。港区社協で区内避難者全員のリストを持っているわけではありませんので、情報提供も全員に出来ていないわけではあります。三宅島社協や島民の方とも連絡を

とらさせていたいただきながら少しずつ枠を広げさせていただいているところです。三宅島の皆様のことを忘れてはなりません。むしろ、何かの折には必ず「三宅島の方にも参加してほしい」との申し出があります。このような力強い応援団を頼りに、皆さんが島に帰るときまで安心して港区内で暮らしていただけるように、微力ながら応援させていただきます。と思っています。

# 島民組織と島民連絡会の活動

## 島民たちの心をつなぐ

全島避難から一年半。6月1日現在も島民たちは18都県に分散し、そのうち九割が避難している都内でも23区26市3町3村(島しょ地域を含む)にまたがっています。この間、全国の皆様に支えられて関係各機関・団体等による懸命な救援活動が展開されています。三宅島社会福祉協議会で

### 「連絡会会議」を開催

第一回の島民連絡会会議は全島避難から一カ月半が過ぎた平成12年10月14日に五地区からの7名の参加で開かれました。久しぶりに顔を合わせて、お互いの活動の情報を交換することからの出発でした。以降、新しい組織が生まれるたびに参加者も増え、今年6月8日までに二十四回の開催となりました。連絡会会議では村役場職員や村議会議員

### 各避難先における島民組織の結成

島民の自主組織結成の動きは、比較的多くの島民が

の方々の参加も得て、時々課題について話し合い、またこれまで開催された四回の「島民ふれあい集会」の企画も進めてきました。

### 島民たちの心をつなぐ

地域の島民組織が果たす役割は、情報の伝達をはじめ避難世帯の見守りや地域の方々の交流など様々でその運営は細かい心づかいが必要で大変な活動です。



2カ月に1回開かれる江東三宅島会の集まり

### これまで結成された島民組織(順不同)

- ◎ 港南三宅会(港区)
- ◎ 東京板橋・豊島区三宅会
- ◎ 江東三宅島会
- ◎ 品川三宅島の会
- ◎ 練馬三宅島連絡会
- ◎ 足立に避難者の三宅会
- ◎ 桐ヶ丘三宅島ボランティア会(北区)
- ◎ 葛飾三宅会
- ◎ 江戸川区三宅島会
- ◎ ふるさと三宅島と町田を結ぶ会
- ◎ 三宅島八王子会
- ◎ 国立泉三宅島会
- ◎ 三宅村向陽台団地入居者の会(稲城市)
- ◎ 立川・大山団地三宅島会
- ◎ 武蔵村山三宅島会
- ◎ 東久留米西団地三宅島会
- ◎ 府中三宅島会
- ◎ 東村山三宅会
- ◎ 埼玉三宅島会

このほか、大田区や国分寺市、あきる野市などでも活動があります。

## 平成13年度 三宅島社会福祉協議会決算報告

5月26日に開かれた評議員会で可決承認された平成13年度の決算について報告いたします。

### 一般会計

当初予算六千一百四十七万一千円に対して、一千二百三十三万六千円の増額補正を行ない、最終予算額は七千三百八十七万七千円となりました。

補正内容は、災害関連の寄付金や介護保険の介護報酬、三宅村からの補助金の増額などによるものです。

◎会費の徴収は、災害による避難のため実施しませんでした。

◎子どもたちへの支援を目的とする指定寄付については、三宅島児童・生徒支援センターの運営や定期的な郵送によるプリペイドカードの配付などに役立てられました。

### 特別会計

◎歳末たすけあい運動は、全島避難が続いたために実施できませんでした。

◎平成13年度末で一名の退職者がありました。

◎運営資金積立金からの一般会計への繰り出しは行いませんでした。

◎介護用品のあっせんや販売を主に扱う老人福祉基金会計は、島内での活動を原則としていたため、平成13年度の実績はゼロとなりました。

◎島内公共施設における清涼飲料の販売は、平成13年度中は社協の事業としては実施されませんでした。従って、収益事業についても実績ゼロでした。

### 平成13年度決算報告 支出総額

収入総額 113,512,540円  
支出総額 68,004,979円  
期末残額 45,507,561円

一般会計 (単位:円)		特別会計 (単位:円)	
収入額計	75,095,064	①歳末たすけあい事業	収入額計 0
会費	0	募入金	0
一般寄付金	3,063,695	繰入金	0
指定寄付金	5,346,497	利息	0
三宅村補助金	34,255,000	支出額計	0
東社協補助金	262,000	支援費	0
三宅村介護保険認定調査委託金	348,600	事務費	0
三宅村情報連絡員設置事業委託金	16,949,000	東共同募金会納付金	0
東社協生活福祉資金事務委託金	103,000	差引残額	0
介護保険介護報酬	3,117,094	②たすけあい資金貸付事業	収入額計 1,592,927
共同募金配分金	268,000	償還金	100,000
利息	3,465	寄付金	0
特別会計繰入金(自販機内釣り銭)	76,035	利息	2,083
雑収入	194,297	前年度繰越金	1,490,844
前年度繰越金	11,108,381	支出額計	100,000
支出額計	64,419,444	貸付金	100,000
組織運営費	424,440	事務費	0
事務費	3,924,567	差引残額	1,492,927
職員給与等	26,834,758	③退職給与引当金	収入額計 18,576,657
調査研究・企画費	154,240	一般会計から繰入	5,000,000
連絡調整費	31,000	利息	9,273
普及宣伝費	454,860	前年度繰越金	13,567,384
児童・生徒等支援	5,111,962	支出額計	3,409,500
高齢者福祉費	150,000	退職員支出	3,409,500
障害者福祉費	268,400	差引残額	15,167,157
更生支援費	10,690	④運営資金積立金	収入額計 15,073,978
心配ごと相談事業費	115,035	一般会計から繰入	5,000,000
ボランティアセンター事業費	38,216	利息	6,379
生活福祉資金貸付事業費	131,450	前年度繰越金	10,067,599
情報連絡員設置事業費	16,749,826	支出額計	0
退職給与引当金積立	5,000,000	一般会計への繰入	0
運営資金積立	5,000,000	差引残額	15,073,978
固定資産取得費	0	⑤老人福祉基金	収入額計 1,678,953
返還金	0	寄付金	0
雑支出	20,000	利息	2,205
予備費	0	前年度繰越金	1,676,748
		支出額計	0
		介護用品購入費	0
		差引残額	1,678,953
		⑥収益事業	収入額計 76,035
		事業収入	39,323
		利息	35
		前年度繰越金	36,677
		支出額計	76,035
		事業費	0
		一般会計への繰入	76,035
		差引残額	0
		⑦ボランティア基金	収入額計 1,418,926
		一般会計から繰入	0
		利息	1,518
		前年度繰越金	1,417,408
		支出額計	0
		一般会計への繰入	0
		差引残額	1,418,926

# 平成14年度 三宅島社会福祉協議会 事業計画

3月24日に開かれた評議員会で承認された平成14年度の事業計画の概要は次のとおりです。

## 事業方針

地域福祉推進の中心的役割を担う民間団体として被災により各地に分散して避難生活をおくる住民の要求の把握に努め、社会福祉協議会がもつ諸機能をもつて関係機関や各団体との協力・連携のもと、支援活動を実施します。

## 重点目標

全国的に組織されている社会福祉協議会のネットワークをフルに活用し、各地に分散避難している住民に対する支援活動を行います。様々なボランティア活動との連携により被災住民へ

## 事業内容

●調査研究  
避難している住民の生活実態や要望について必要な調査・研究を行います。  
他の被災地やボランティア活動との交流を深め、その経験を積極的に学びます。支援費制度や地域福祉権利擁護事業、介護保険制度の改革など社会福祉の諸制

## 事業内容

●広報活動  
「三宅島協だより」の発行体制を強化します。また、ホームページを作成し活用します。三宅島災害・東京ボランティア支援センターのファックス通信「みやげの風」にて適宜、必要な情報提供を行います。  
「島民ふれあい集会」などのイベントを企画開催し、災害の現状と支援活動のPRにつとめます。  
●児童福祉  
三宅島の児童・生徒に対

## 事業内容

する支援について教育委員会、村立小中学校、都立三宅高校との情報交換や協力を行います。  
●緊急援護  
一時的な生活困窮者に対し小口資金の貸付をします。  
●地域福祉権利擁護事業  
東京都社会福祉協議会と共同で事業を実施します。  
●生活福祉資金貸付事業  
民生委員と協力し低所得者や身体障害者のいる世帯などに資金の貸付をします。  
●心配ごと相談事業  
民生委員を相談員として各種の相談に応じます。  
●ボランティア活動  
東京ボランティア・市民活動センターおよび三宅島災害・東京ボランティア支援センターとの協力により住民へのボランティア支援についての調整を行います。住民のボランティア参加の方法を研究し推進を図るとともにボランティア保険の加入料を助成します。各種ボランティア団体との交流を促進します。

## 事業内容

度について研究を深めます。  
●連絡・連携の強化  
島内各機関、団体および住民の避難先の行政や社会福祉協議会、ボランティアセンターとの連絡・連携を強めます。また、避難先における介護サービス事業者等との連絡を強化します。  
三宅島災害・東京ボランティア支援センターの構成団体として、他の構成団体とともに局面に応じた効果的な支援活動を考え、実施します。  
●広報活動  
「三宅島協だより」の発行体制を強化します。また、ホームページを作成し活用します。三宅島災害・東京ボランティア支援センターのファックス通信「みやげの風」にて適宜、必要な情報提供を行います。  
「島民ふれあい集会」などのイベントを企画開催し、災害の現状と支援活動のPRにつとめます。  
●児童福祉  
三宅島の児童・生徒に対

# 平成14年度 三宅島社会福祉協議会予算概要

3月24日に開かれた評議員会で可決承認された平成14年度の予算の概要は次のとおりです。

## 一般会計

●会費については一般島民の帰島の目処が立つまで徴収いたしません。  
●子どもたちに対する支援を目的とする指定寄付は、定期的な発送物等をもって還元してまいります。  
●三宅村からの補助事業として地区ボランティアセンターを運営し、専任職員を配置します。  
●三宅村からの委託による情報連絡員配置事業を実施します。連絡員は28名の体制で臨みます。  
●介護保険事業のうち、居宅介護支援事業（ケアプラン作成）は、体制を強化して実施します。

## 特別会計

●歳末たすけあい運動については、今年度の実施は予定いたしません。  
●平成13年度末に退職者がありましたので、引当金の積み立てを順次行つてまいります。  
●当面の事業実施のため運転資金として運営資金積立金より一般会計に一時的な繰り出しを行います。  
●介護用品のあつせんや販売を扱う老人福祉基金会計と、島内公共施設における清涼飲料販売の会計を扱う収益事業会計は、帰島後の事業再開まで予算を組めませんので、収支ともにゼロとなります。

## 平成14年度予算概要

収入総額 116,887 (単位：千円)  
支出総額 116,887

一般会計		特別会計	
収入額計	72,398	①歳末たすけあい事業 収入額計	0
会費	0	収入	0
一般寄付金	1,500	繰入金	0
指定寄付金	3,500	利息	0
三宅村補助金	34,434		
東社協補助金	72		
社会福祉団体補助金	1		
三宅村介護保険認定調査委託金	252		
三宅村情報連絡員設置事業委託金	19,600	②たすけあい資金貸付事業 収入額計	2,003
東社協生活福祉資金事務委託金	111	償還金	500
介護保険介護報酬	1,620	寄付金	1
共同募金配分金	268	利息	2
利息	438	前年度繰越金	1,500
特別会計繰入金	3,001		
雑収入	101		
前年度繰越金	7,500	③退職給与引当金 収入額計	20,231
支出額計	72,398	収入	2,000
組織運営費	680	利息	35
事務費	4,682	前年度繰越金	18,196
職員給与等	28,934		
調査研究・企画費	600	④運営資金積立金 収入額計	18,832
連絡調整費	600	収入	3,000
普及宣伝費	701	利息	25
助成事業費	1	前年度繰越金	15,807
児童・生徒等支援	5,400		
高齢者福祉費	1,000	⑤老人福祉基金 収入額計	0
障害者福祉費	1,000	収入	0
母子婦人福祉費	300	寄付金	0
更生援護費	200	利息	0
緊急援護費	200	前年度繰越金	0
心配ごと相談事業費	200		
ボランティアセンター事業費	500	⑥収益事業 収入額計	0
生活福祉資金貸付事業費	250	収入	0
情報連絡員設置事業費	19,600	事業収入	0
退職給与引当金積立	2,000	利息	0
運営資金積立	3,000	前年度繰越金	0
ボランティア基金積立	2,000		
固定資産取得費	1	⑦ボランティア基金 収入額計	3,423
返還金	1	収入	2,000
雑支出	30	一般会計から繰入	2,000
次年度繰越金	1	利息等	3
予備費	517	前年度繰越金	1,420
		支出額計	0
		支出額計	2,003
		貸付金	1,500
		事務費	2
		次年度繰越金	501
		支出額計	20,231
		退職金支出	20,231
		支出額計	18,832
		一般会計への繰入	3,000
		次年度繰越金	15,832
		支出額計	0
		介護用品購入費	0
		支出額計	0
		事業費	0
		一般会計への繰入	0
		支出額計	3,423
		一般会計への繰入	1
		次年度繰越金	3,422

## 寄付金のお知らせ

三宅島噴火災害の救援活動支援のために、以下の皆様よりご寄付がありました。ご厚志まことにありがとうございました。

(平成13年10月10日～平成14年4月5日：敬称略)

鴨川市社会福祉協議会 会長 佐藤義雄	583,214円
羽村美容師会	250,000円
暁星女子高等学校聖母寮	116,193円
榊原一郎・西廣宗彦	23,000円
都市防災研究会	29,957円
帰宅難民の会 神奈川実行委員会	18,780円
都市防災研究会	13,000円
セカンドライフ推進連絡会	6,545円
岡安節子	120,000円
小笠原村社会福祉協議会	446,885円
—————以上は平成13年度—————	
浦和明の星幼稚PTAマリアの会	30,000円

【指定寄付】 障害者作業所復旧のために

(平成13年5月31日)

共同作業所全国連絡会／自然災害被災作業所支援募金助成金	205,100円
-----------------------------	----------

【指定寄付】 三宅島の子どもたちの支援のために、以下の皆様よりご寄付をいただきました。「三宅島児童・生徒支援センター」の運営（平成13年度中）や全国に避難している三宅島の子ども達へのプリペイドカード等の配布のために使わせていただいております。

(平成13年10月26日～平成14年6月17日：敬称略)

三宅島への義援活動の会 柏市少年野球アトミック	4,000円
バザーオールスタークラシック 三宅島子供基金 吉田幸二	55,858円
ゆきとどいた教育をすすめる狛江市民の会	45,340円
神奈川日新会 会長 白井矩次	100,000円
明治学院同窓会 会長 伊藤 慶	60,000円
西多摩接骨師会 内浦和彦	83,060円
ボランティアステーション	50,550円
滝澤真弓	2,400円
調布星美幼稚園ボランティアサークル	26,457円
雪まつり実行委員会	490,863円
神奈川県立マリヤ高等学校生徒会	50,000円
—————以上は平成13年度—————	
金目中学校区地域教育力ネットワーク協議会	70,000円
匿名の方	47,000円

# 高齢者に関する知識

## 高齢者向けの知識シリーズ②

春号では高齢者の特徴・多く見られる傾向等についてお知らせしました。今回は高齢者とのコミュニケーションについて考えてみましょう。

☆高齢者と上手にコミュニケーションをとりするには、衰えに対する理解が必要です。

### 筋肉と関節

高齢者は若年者には予測もつかないところで不自由を感じていることがあります。例えば清涼飲料水のペットボトルのフタをひねって開けるような簡単なことが、握力の衰えた高齢者には難しくてできま

せん。

他人に頼むのが気兼ねで、

我慢して脱水状態になってしまっていることがあります。

高齢者の遠慮は背後にあるものを読み取る必要があります。

高齢者の場合、誘いを一度断られても、更に2〜3度声を掛けられた方が良いでしょう。



### 視力と聴力

白内障になると、特に黄色の紙に赤い文字で書いた特売札

等が見えにくくなります。

一般的に目立つはずのものが読みにくいことがあります。

文字が大きければ読めるのは限らないので注意が必要です。

耳の遠い高齢者には声を張り上げるより、低く太い声で「言いつ区切りながらゆっく」と短い文章で話すほうが、相手に聞き取りやすいです。

伝えたいことは、一度に一つに絞ったほうがわかりやすいです。

家族で出来る!

### 視力・聴力のチェックをしてみましょう

- ・以前ほど新聞や本を読まなくなった。
- ・テレビを近くに寄って見ている。
- ・声をかけても返事をしない事が増えた。
- ・大勢の人との会話に、まったく別の話をする事がある。
- ・テレビのボリュームを高くて聞いていることが多い。



# 保健所だより

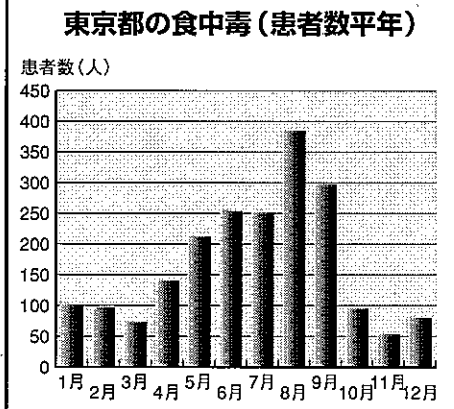
平成14年 夏号 No.268

R100 古紙配合率100%

東京都島しょ保健所三宅出張所 〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 TEL.03(5320)4557 都庁第1本庁舎41F FAX.03(5388)1600

## 食中毒を早く飛ばそう!

はじめじめした不快な日が続きます。皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、「気温や湿度が高くなる」と、思いがちですが、実際には最も食中毒が増えるのは梅雨の時期ではなく、もう少しあとの8月から9月にかけてなのです。



たしかに、8月は気温が高く、食品が傷みやすくなります。これに加えて、盛夏から残暑にかけての時期は、夏バテや冷房の効きすぎなどで体力が低下し、細菌に感染しやすくなっているのです。

したがって、食中毒にかかってしまった要因は、次の2つであると考えられます。

- ① バイ菌が増殖した食品を食べたこと。
- ② バイ菌に対する抵抗力が低下していること。

一方、かつて全国で猛威をふるった腸管出血性大腸菌は、いまでは大きな食中毒になることはありません。しかしながら、食中毒事件にはならないまでも、腸管出血性大腸菌にかかった人が、昨年は308名にものぼりました。

万一、抵抗力のない幼児やお年寄りのほか、夏バテなどで普段より体力がおとろえてしまった人が感染したら、重篤なことになってしまいかもれません。

### 食中毒にならないために

「1 バイ菌から身を守る」  
 バイ菌をおさえるには、皆さんも「1」承知のとおり、原則があります。

「① バイ菌を付けない、② バイ菌を増やさない、③ 殺菌する」です。

- ① 先ず、バイ菌を付けない工夫が必要です。料理に使用したまな板や包丁は、こまめに洗浄し、熱湯などで消毒して、他の食品を汚染させないようにしましょう。もちろん、手を洗うことは基本中の基本です。
- ② 次に、バイ菌を増やさないように、冷蔵庫を活用しましょう。ただし、加熱した料理は小分けして冷ましてから冷蔵庫に入れましょう。
- ③ そして、食品を中心部まで十分加熱して、殺菌することです。

### 2 体に抵抗力を付ける

十分に睡眠をとり、規則正しい健康的な生活を送ることによって体力をつけましょう。  
 また、胃では胃酸によって食べたものは殺菌されますが、暑いからといって冷たい飲み物を大量に飲むと胃酸が薄まって殺菌力が低下してしまいます。  
 普段から暴飲、暴食をつつし、食中毒を吹っ飛ばしましょう!

# 夏だ！プールの準備！！

## ゆう君とプールの準備！！



監視員：ハイその親子！プールは飛び込まないで静かに入りましょう！

ゆう君：わーおープールだー！

パパ：今日は暑くなったな。水が気持ちいいぞーゆう君、からだの調子が悪いところははないかい？

ゆう君：ないよー！今日もいつもどおり元気だよー！

ママ：プールでうつる病気もあるから気をつけようね。

食欲がなかったり、寝不足だったりと、体調が良くないときは、体力も落ちていることから、思わぬ事故をまねくこととなります。

また、次のような症状のあるときには、専門のお医者さんに見てもらって、完治してからプールに入らしましょう。

\*中耳炎や外耳炎にはなっていないですか？

\*扁桃腺がはれたり熱が出ていませんか？

\*結膜炎にはなっていないませんか？

\*下痢はしていませんか？

パパ：さあ準備運動をしつかりやってシャワーを浴びてプールに入ろう！

ゆう君：はーい！

プールに入る前には念入りに準備体操をしましょう。学校の授業ではなくても準備運動は必要です。特に午前中は体が硬くケガをしやすいため、注意しましょう。

準備運動が終わった



たら腰洗い槽と足洗い槽を通り（最近はないプールもあります）シャワーで念入りに体を洗いましょう。整髪料や化粧は水質を悪化させるので落としましょう。また水質保持のために、決まった場所以外では飲食をしないようにしましょう。トイレに行ったら再度シャワーなどを浴びましょう。

ゆう君：さあたくさん泳ぐぞー！

ママ：ゆう君飛び込んで大丈夫だよー！

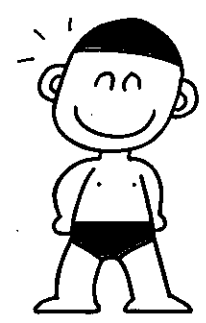
ママ：ママは日焼けしたくないしプールサイドで見てるわ。

パパ：化粧落とすと誰かわからなくなるからね。

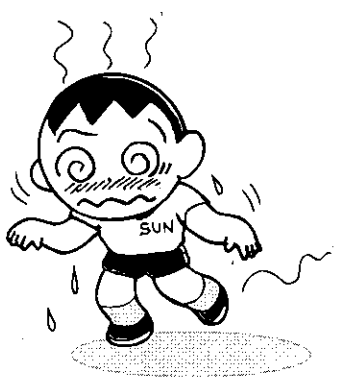
ママ：言ったわね！

パパとゆう君：あははは。サブ

**注意**  
プールでうつる病気には、プール熱や、はやり目・水いぼなどがあります。どれもプールの塩素消毒が徹底されていれば、心配ありません。しかし、タオルの貸し借りなどによってうつることがあります。感染予防のためにも、タオルの貸し借りはやめ、水泳後にはシャワーなどでよく体を洗い、洗眼やうがいをお願いします。



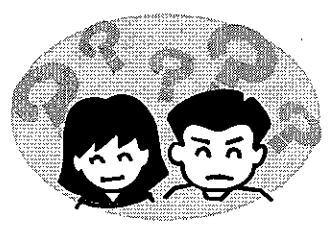
# 熱中症(日射病)を予防するためにのどが渴いたらお茶やお水をすすんで飲むようにしましょう。



人間の体は体温を一定にするため、夏の暑い時や運動した時などは、汗をかいて熱を発散させます。汗をかくと体から水分がでていきます。トイレが近くなるからと水分摂取を控えがちになりますが、脱水状態(熱中症)になると、気持ちが悪くなったり、立ちくらみ(目まい)がしたり、最悪の場合には意識を失ったりして大変危険です。汗をかいたら、お茶やお水を十分に補給しましょう。



皆さんの中には保健所は何をやっている所なんだろう?と思われる方がいらっしゃるでしょう。



そこで今号からシリーズで保健所の仕事を紹介していきます。

## 保健所はどのような仕事をしているの？

記念すべき1回目は保健指導係を紹介いたします。島しょ保健所三宅出張所の保健指導係は保健師2名からなる係で常に皆様の健康の事を考えて業務をしております。

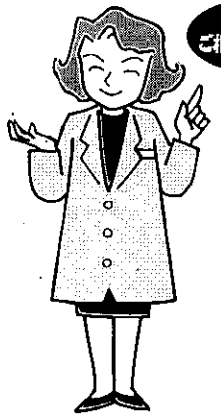
当所の保健師が皆さんの身体のごことについての相談や心の病・感染症・難病等の相談に電話又は直接訪問をしています。もし皆さん

の中で「この頃体調が優れないなあ」とお思いの方、この頃ちょっと心が疲れている方等「このようなお悩みをお持ちの方は是非お近くの保健所または島しょ保健所三宅出張所の保健師にご相談ください。皆さんの身近にいる健康のプロ

のアドバイスを受けて見ませんか？



TEL: 03-5320-4558  
島しょ保健所三宅出張所保健師まで

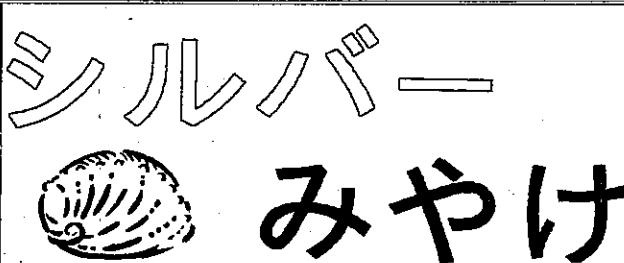


お気軽にご相談ください



平成14年 7月10日発行

平成14年7月10日発行  
会報 第80号  
会員数 404名  
男性 166名  
女性 238名



編集・発行  
社団法人三宅村シルバー人材センター  
東京都千代田区飯田橋3-10-3  
シニアワーク東京2階  
TEL; 03-3239-4343  
FAX; 03-3512-3477

転倒。左手を強く打  
てて、事故ゼロ」を  
目指します。

都内では、五十八の  
シルバー... 指の関節  
を負傷する事故で  
約七万人の会員が  
います。幸いにして  
二人は後遺症の  
す。ちよつとした  
気の弛みが大なる  
事故を呼ぶことを  
忘れないよう、就  
業前の安全確認を  
徹底しまし  
よう。

安全は シルバーみんなの合言葉  
安全就業強化月間(七月)

**安全就業対策の重点項目**

1. 交通ルールを守り、就業途上での交通事故の防止
2. 足元、手元、周囲の安全確認
3. 危険場所へは近づかない
4. 枝打ち、剪定作業での転落事故の防止
5. 安全帽の着用徹底
6. 段差・障害物による転倒事故の防止

えたいものですね。  
待望の帰島の日を  
迎

事故の原因の多く  
は、仕事の慣れに  
よる気の弛みと注  
意を欠いてしまっ  
ていると云  
われています。  
また、都会の交通  
事情に慣れていな  
い皆さんは、特に  
就業途上での交通  
事故に  
気を付けよう。  
当センターでは、  
安全就業運動を推  
進  
するため、「安全就  
業ハンドブック」を  
会員に配布します。  
みんなが無事故で  
望む帰島の日を

今年も猛暑の季節  
がやってきました。  
当センターの仕事  
は炎天にさらされ  
て  
の作業が多いため  
、  
会員の皆さんは、  
特  
に「熱中症」に気  
を  
つけなければなら  
ま  
せん。  
先日、鳥しよ保健  
所三宅出張所の小  
杉  
保健師さんから、  
熱  
中症の予防と応急  
措  
置について伺いま  
した。

**熱中症・予防と応急手当**

- ① 作業には風通しの良い服、帽子などで、強い日光を直接肌や頭に当てないように工夫しましょう。
- ② 汗をかくような作業をするときは、こまめに水分や塩分を補給しましょう。
- ③ 適度な休息をとりましょう。その日の天候や体力、体調に合わせて、休息をとることは非常に大切なことです。
- ④ 無理をしない、させない。途中で具合が悪くなったら、ゆっくり休んで、また明日。

長時間、直射日光を浴び、大量の汗をかくと体内の水分や塩分が失われ、脱水症状に陥ったとき、頭痛、めまい、吐き気、さらには意識障害などの症状が現れます。

**☆予防対策**

**☆熱中症とは**

今年も猛暑の季節がやってきました。当センターの仕事は炎天にさらされての作業が多いため、会員の皆さんは、特に「熱中症」に気を付けなければなりません。

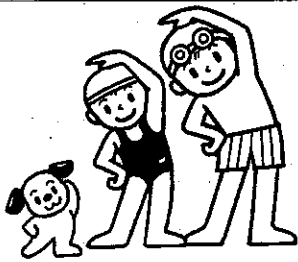
先日、鳥しよ保健所三宅出張所の小杉保健師さんから、熱中症の予防と応急措置について伺いました。

**平成14年5月分事業実績 (単位:円)**

月	区分	受託件数	就業延日人員	契約金額			計
				配分金	材料費	事務費	
5	公共	7	1,162	7,011,140	220,143	537,360	7,768,643
	民間	1	12	42,000	0	0	42,000
	計	8	1,174	7,053,140	220,143	537,360	7,810,643
累計	公共	12	1,942	11,496,180	248,629	937,210	12,682,019
	民間	3	38	103,700	0	0	103,700
	合計	15	1,980	11,599,880	248,629	937,210	12,785,719

- ① 衣服をゆるめ、頭を高くして木陰や風通しのよい、涼しい場所に寝かせる。
  - ② むれたタオルで、頭や全身をふくなどして冷し、塩水や冷たい水などを補給する。
  - ⑤ 睡眠を十分とり、深酒は禁物です。
- ☆応急手当**
- 吐き気、意識障害、体温の上昇がみられる時は、救急車を呼ぶなどの措置をする。
- ☆こんなときには救急車**

平成14年 7月10日発行



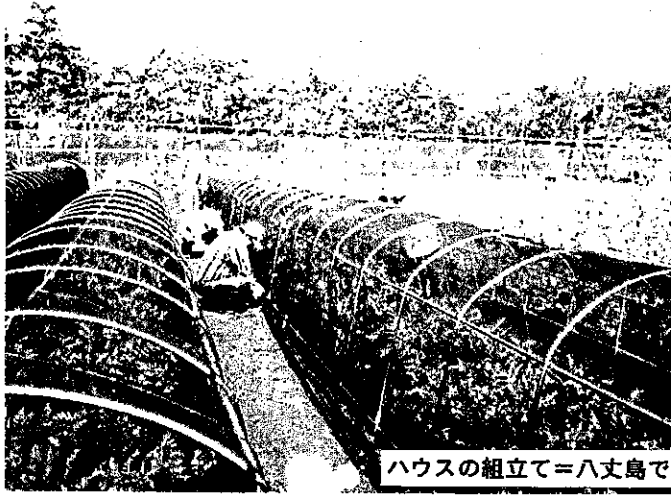
# 広場



## 投稿歓迎

皆様のご意見やお便りをお待ちしています。詩歌やエッセイなど大歓迎、ご投稿下さい。

三宅村シルバー ホームページ・アドレス  
http://www.sjc.ne.jp/miyake/index.htm  
E-mail) =miyakesc@tokyosilver.or.jp



ハウスの組立て=八丈島で

## レーザーファン苗づくり 10人衆・ふん闘記

五月二十一日、午後八時竹芝橋に集合。着いてみると知っての顔が笑っている。そういえば、今日は坪田の一時帰島の日だった。午後十時、カメラ丸(御蔵島經由八丈島行)に乗船したが、シーズンオフとあって、船客は五、六十人?。穏やかな航海に恵まれ翌朝六時に御蔵島に寄港して、九時に三根・底土港に接岸。

レーザーファンの種苗確保事業で、会員一〇人が二班に分かれて八丈島に渡り、植え付け作業をしました。前田副会長をリーダーに、雨に悩まされながらも二万五千株の定植を無事終了。平均年齢七十歳の八丈・十人衆の奮闘ぶりを理事・広瀬和平氏のレポートでお伝えします。

海は青くきれいだ。久しぶりの磯の香りに思わず深呼吸、車で民宿に向かい第一班の二人と合流。二人は、第二班の助っ人として残った心強い仲間だ。午後からは、八丈富士の裾野に広がる圃場で現場説明。いよいよ明日からレーザーの苗と真剣勝負だ、やるぜえ。

初日の朝、食事を済ませて部屋に戻るとあちこちでガサゴソ、ピリーッと音がする。みんな袋の中から常備薬を取り出して飲んでいるではないか。「やっぱり、みんな年には勝てないんだよなあ」とつくづく思いました。

八時十分、迎いの車に分乗して現場に向かう。仕事が始まると、さすが昔とった杵柄、とても七十代とは思えぬ手捌きと、まだ若いもんには負けねえとばかりの気迫に、ついホレボレしてしまいました。

私など、何もかも初めてのことで、仲間の足を引っ張っているのではないかと心配しています。でも、島に帰った時、農家の皆さんの少しでもお役に立てればと、出っ腹をだましました。張りました。

民宿に帰ると、毎日の洗濯がときには九時ごろまでかかることもありました。民宿では、海の幸、山の幸が食卓に上り、食べきれないほどでした。ああ、腹いっぱい。

六畳間に女性二人、八畳間には男性四人が枕を並べて、もう九時には白河夜船。疲れているからたまらない、夜な夜なイビキの合唱やらフスマにぶつかると音で、ホントににぎやかな夜でした。仕事が心配なのか、はたまた年よりの早起きなのか、早い人は朝四時には起きてガサゴソ。

現場の総指揮を執ってくれた八丈町農業委員会の奥山先生の心温まる気配りで、楽しく就業することができました。雨にたたられて心配していた作業も、どうやら予定どおり終了。よかった、よかった。

最後の夜、宿のおばさんやお手伝いのめならべ(若い娘)?の皆さんが八丈太鼓にのせて民謡や踊りで励まし、別れを惜しんでくれました。ありがたい、サンキュー。

いよいよ出発の日、朝からしとしと雨にみんな浮かぬ顔。とりあえず第二便の航空券を手空港に出かけたが、欠航を告げる放送にガックリ。

根性で最終便まで待ったが、全便欠航とあいなって、「やっぱり島だなあ」とよく欠航していた三宅島を思い出しました。翌六月一日、天候も回復して

立川支所だより

## ハガキ印刷に挑戦

今月のパソコン教室では、ハガキ印刷(暑中見舞いなど)に挑戦します。会員でなくても参加できます!!(定員6名)。

日時 七月二十二日(三日間)  
場所 三宅シルバー立川支所  
締切り 七月十九日  
詳しくは左記へお電話下さい。  
電話 042-548-3717

配分金支払日  
配分金はあなたの口座に振り込みます。  
▼八月十三日(火)  
▼九月十日(火)  
▼十月十日(木)

第一便で全員が元気に東京に戻った次第です。奥山先生ほか関係者のみなさん!、心温まるご支援と楽しい思い出を頂き、本当にありがとうございます。

レーザーの苗づくりもこれでひとまず終り、これからは八丈島に避難している会員が、都や奥山先生のご指導で除草や育苗管理を行なっていきます。島の再建と農業の振興を託した四万五千株のレーザーファン。立派に育って、一日も早く三宅島に根づいてくれる日を楽しみにしています。(事務局)